

第 3 学年 総合学習 指導案

3 年 1 組 指導者 寺内 健

単 元 3 年 1 組 手作り畑で大豆を栽培しよう

資質・能力
①活用できる知識・理解
②自ら問題を見付ける力・解決する力
③仲間をもとに筋道を立てて考える力
④自分や仲間の考えを問い直す力
⑤様々な角度から自分の考えを削り出す力
⑥自分の思いや考えを分かりやすく伝える力
⑦自分から学びに向かおうとする力
⑧仲間の考えを受け止める力
⑨困ったときに援助を求める力
⑩自分の学びを見つめ直す力
⑪人間性(感性、達成感など)に関すること

1 単元について

本学級の児童は、第 1 学年、第 2 学年において生活科の内容の 1 つである「動植物の飼育・栽培」で、野菜の栽培に取り組んだ。子どもは学習をとおして、植物の育つ場所や生長の様子に関心をもち、植物が生命をもっていることや成長していることに気付いてきた。そのような子どもが、様々な食品に変わる「大豆」に興味をもち、自分たちで作った畑で大豆を栽培し、収穫する学習に取り組む。その中で、子どもは生命のもつ不思議さやすばらしさ、収穫する喜びを感じることができよう。

本単元は、「どうすれば多くの大豆を収穫することができるのか」について探究していく学習である。子どもは、大豆が日頃から様々な食品に用いられている身近な食材であることに気付き、大豆に興味をもち、そして、自分たちで大豆を育て、いろいろな大豆製品に変えてみたいという思いをもつ。その思いをもとに、より多くの大豆を収穫するために必要な畑の広さや大きく生長させることのできる土作りについて、調査したことをもとに畑を作る。さらに、大きく生長させるための間引きの仕方、害虫・害鳥などの対策を調べたり、専門家からアドバイスをもらったりして、見出された問題の解決に向けて学習を展開していく。このような学習の過程で、各教科で身に付けた知識・技能等を生かすことの有用性を感じ、課題を解決するために活用できるようにしていきたい。そこで、以下のような支援を具体化する。

- 子どもが課題の解決をしていく際、各教科等で学んだ知識・技能等を活用している姿を見取り、課題解決の過程とともに明示化する。そうすることで、新たな探究の場面でも活用し、学び方やものの考え方を確かにしていくことができるようにする。
- 課題解決のための提案やアイデアの「よさ」と「問題点」を板書上で分類する。そうすることで、仲間の考えを受け止めてよりよい解決策を見出すことができるようにする。
- 振り返りを行う際、各教科等で学んだことを生かして課題解決ができた子どもを見取り、紹介し価値付ける。そうすることで、各教科等で身に付けた知識・技能等の有用性を全体で共有し、自覚することができるようにする。

2 目 標 (生活：ものづくり 生命・福祉：生命)

- 多くの大豆を収穫することをめざして探究活動に取り組む中で、専門家や仲間とかかわったり、学び方やものの考え方を確かにしていくことができるようにする。
- 自分たちで作った畑で大豆を栽培し、収穫することで、生命のもつ不思議さやすばらしさ、収穫する喜びを感じることができるようになる。

3 評価規準

関心・意欲・態度(関)	学び方(学)	見方・考え方(見)
○大豆に興味をもち、より多くの大豆を収穫できるように、「ひと・もの・こと」の対象とかかわろうとしている。	○多くの大豆を収穫することをめざして、専門家や仲間とかかわったり、各教科等で身に付けた知識・技能等を活用したりしている。	○生命のもつ不思議さやすばらしさ、大豆を収穫する喜びを感じている。

4 指導計画

- 1 次 大豆を育てるための方法を話し合う (1 1 時間)
- 2 次 大豆を栽培し、収穫する (2 2 時間)
- 3 次 学習を振り返る (2 時間)

5 本時案 【平成 28 年 6 月 16 日 13:50~14:35 3 年 1 組教室】

- (1) ねらい 大豆の生長の条件をふまえて考えたり問題の解決策を見出したりすることとおして、大豆畑にふさわしい場所を考えることができるようにする。

(2) 学習過程

学習活動／子どもの意識	支援
<p>① 大豆畑にふさわしい場所を発表する (35分)</p> <p>学習内容 ・大豆畑にふさわしい場所探しへの関心(関) ・「メリット」「デメリット」をふまえた話し合い(学)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 模造紙 (1 m²) 20枚分の広さの畑になる場所を探したよ。 A 理科でひまわりを植えている畑がよいのではないかな。日当たりがよかったよ。何も植えていない畑が模造紙8枚分だったよ。 B でも休み時間に他の人が入りそうで心配だな。 ・ 社会の町探検で見付けた野田幼稚園の「元気畑」のように、3年1組の畑だと分かる看板を作ったらどうかな。 C 柵や看板を作って呼びかけたら学校みんなは大切にしてくれると思うよ。 ・ 中庭にある畑も使えないかな。図工室の前にある畑や家庭科室の前にも畑があったよ。だいたい模造紙6枚分だったよ。 ・ まだ足りないね。B君の班は畑になりそうな場所を見つけたのだった。 ・ 教室の前の庭はどうか。広場の全部を畑にすれば模造紙7～8枚分の畑が取れるよ。 A 日当たりもよくて、水道が近くにあるから水やりをしやすいね。 B この教室前の広場の写真を見て分かるように、植木に囲まれているから人が入る心配もなさそうだね。 ・ 今まで出てきた場所をまるごと大豆畑にしよう。 ・ でも、土がよくない場所もあるよ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 土がよくないってどういうことかな。 </div>  <ul style="list-style-type: none"> ・ 土がかたくて育ちにくいと思うよ。中庭の土をさわるとかたかったよ。 ・ 野菜を育てた畑はやわらかい土だったよね。 ・ ぼくは行ってないからわからないよ。確かめてみたいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ○前時の振り返りで「日当たり」の善し悪しで場所を選んでいる子どもを見取り、意図的指名をする。そうすることで、大豆畑にふさわしい畑の条件を共有し、話し合いの方向性を明確にすることができるようにする。 ○調査結果を発表させる際、選んだ場所の「メリット」を赤、「デメリット」を青で、「解決法」を緑で、校内図に書き込む。そうすることで、「メリット」からその場所のよさを確認したり、「デメリット」に対する「解決法」を考えたりすることができるようにする。 ○各教科等での学びを生かした子どもを振り返りから見取り、意図的に指名する。そうすることで、各教科等での学びの有用性を共有し次時への意欲を高めることができるようにする。
<p>② 振り返りをする (10分)</p> <p>学習内容 ・新たにもった考え方(見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ みんなで探したから全部で模造紙20枚分以上見付けられたね。 ・ 生活科や理科で学習した日当たりや栽培のしやすさにも目を向けて考えられたよ。 ・ わからないところは、行ってみんなで確かめてみよう。 ・ 校長先生や理科の先生に、どのくらい畑を作らせてもらえるか相談してみよう。 	

6 板書計画

